

南山城村議会地域報告会（第1回）

【道の駅】

＜田山農村婦人の家＞ ～平成27年11月7日～

- Q 要望を聞いてくれるのか。「道の駅」の協力隊は何人でやっているのか。
「むらびいと」はあんな感じでいいのか。マイナンバーは商工会として管理、セキュリティ等業者への設置投資の補助を考えてほしい。
- A 要望は後で聞く。協力隊は2人でやっているようです。
- Q 議会報告会を実施することは良いこと。良いところを生かして続けてほしい。マイナンバーは他と比べてどうか。他も単費を出しているのか。議会で質問に答えていないのはなぜか。「道の駅」の3377万円の審議で賛成の意見が見えてこない。
- Q 議員がおかしいことは、住民の代表として議員必携も読んで何をすべきか理解がされていない。何でも賛成ではよくない。賛成討論がないのはなぜか。
- Q 報告会というが、済んだことを報告するのでは意味がない。次のことを考えて住民の声を聞いてほしい。「道の駅」できるわけがない。過去3800万円調査費使った。反対したのか。土地価格が高い。7000万円は高すぎる。このあたりの茶畑はいくらか。評価は田山で一平方メートル132円。食堂も廃業した。悪臭があつてできるのか。3日も持たない。だれが責任持つのか。1億円売ららしい。従業員雇ってコンビニもできるのか。他人事と思っていないか。このままでは子供も若者もいなくなる。
- Q いい加減な議員ばかり。「道の駅」絶対ダメ。あんな臭いところで。あの豚の臭いを解決してからやるべき。賛成した理由を聞きたい。村の命とりになる。責任とれるのか。破たんする。夕張はメロンでもダメやった。納得できる説明をしてもらいたい。
- A 報告会は毎年一回以上実施し、続ける。賛成議員の個々の意見は言いにくい。
- Q 賛成討論しないで議会運営していいのか。4対4となると議論されているのでその意味は大きい。
- A 選挙時、村長は「道の駅」を進めると言って勝った。4対4となった時、これまで使った費用や府も協力してくれているのでダメにはできない。
- Q 用地費と補償費は別にすべきではないか。別にすべきと理解している議員はいるのに、他の議員は理解が不十分である。
- Q 個人の私利私欲で賛成するのはよくない。賛成の意見を出してほしい。なんで答えられないのか。何のために議会に出ているのか。住民は願いを託しているのやから自分の村が将来こうあつてほしいと願って今日来た。解決しようと思えばできるはず。原発でも解決しようとしている。あの臭いはよくない。野菜も売れない。
- Q 賛成議員のビジョンが出てこない。低次元の議論である。できるかわからないのに

賛成しているのはよくない。あれをつくったら付加価値が何倍にもなって返せるとの計画もない。

A 10人雇用としている。29年春開設。

Q 10億円。建物削っていくとか議会でも議論して進めて深めてほしい。賛成の人に責任がある。

Q 議員の勉強会場ではない。報告会の趣旨がわからない。期待してきたのは声を聞いてくれると思ってきた。このままでは恥ずかしい。南山城村と言にくい。胸張って言える人をつくってほしい。過ぎたことではなくこれからのことを話してほしい。

<今山公民館> ~平成27年11月14日~

Q 「道の駅」で田んぼの値段はどうか。

A 1㎡5500円と5700円で高いほうは国道に面しているため。宅地は12500円です。

Q 税金はどうなっている。

A 調査して評価に反映している。埋め立てているところは府の管轄となる。「道の駅」は府と村でエリアを決めている。

Q 2390万円魅力ある村づくりに使われている。「道の駅」は手段であってどのようにやるかが重要である。ほかに手段はないのか。

A 村長は「道の駅」がバラ色とっている。村は第4次計画をつくっているが、商工会への補助は500万円。人口対策も不十分。議会では保育料を無料にしたらどうかと提案している。高齢者施設も造ってほしい。雇用も増える。地方創生の計画を村がつくっているが議員に説明がないのでわからない。

Q 説明を受け安心した。保育料の無料が良いかわからない。商品はたたき合いになる。付加価値をつけることが必要でプラスアルファが大切。たとえば進学率が上がったとかなんか必要。農産物はあるのか。よそから買ってくるのではよくない。昨年、父が亡くなり田んぼの放棄地がある。村主導で農地の運営を考えたらいい。真剣に考えていくべきであると思う。

土地の有効利用が「道の駅」の成功につながると思う。推進課でやってほしい。

A 千葉から保育料の安い茨城に行くとテレビでやっていた。

Q 議会で退席したのはあかんからか。また、議長は何でも賛成したのか。

A 村長は選挙でも「道の駅」をやると選挙を戦った。第一の用地の時も村長を押してきた。府も一緒になってやっている。反対したらパーになる。村長は「道の駅」にかけている。

Q 前回からここではなかった。

A 前回では35万㎡の土を埋めたらいいとなっていたが、運ぶ土がなくなった。そんなことで今山での土地が浮上した。私は村長が「道の駅」を進めているので賛成した。

Q 悪臭がひどい。臭いが止まらなると人が寄らない。

Q 「道の駅四万十」から来てもらって何百万円もかかっていると聞く。身近なところでも金をかけず手伝ってあげるといふ人もいる。成果は上がるのか。

A 四万十社長以下4人來ている。平成27年は700万円、今まで2000万円払った。四万十は現在に至るまでに20年かかっている。

<月ヶ瀬ニュータウン集会所>

～平成27年11月21日～

Q なぜ「道の駅」に賛成されているのか説明してほしい。

A 府と連携して進めている。村長も努力している。高齢者施設もつくると言っている。NTだけで悪臭改善が進まなければ、村がせざるを得ないようにすることが大切。

Q 議員は甘い。福祉施設は建つのか。

A 返答はもらっていない。条例もつくった。移転なのか、廃業なのか何らかの形で「道の駅」をすることにより進むと踏んでいる。

Q 現状では反対すべきではないのか。

A 議会だよりには反対討論はあるが、賛成討論がないのはなぜか。言わないとわからない。明確にしてほしい。

Q 「道の駅」の工事が進んでいる。大きな金額をかけ進んでいる。賛成している人、悪臭が解決しないと人が來ないことわかっているのか。覚悟を示すべきである。

Q 違うと思う。議員の返事は、悪臭が解決していないのに希望的観測ばかり。今の村長の公約は悪臭をなくすであった。「道の駅」賛成の5人の議員の皆さんは、失敗したら全財産をなげだす覚悟はあるか聞かせてください。

A 「道の駅」は地域の振興、人口増対策などに大切と考えている。当初はNT前であった。18億円かかるが村長に進言し現在地に來たらとなった。二次的には、福祉施設があればよい。臭気も解決する。費用も10億円と少なくてすむ。

Q 10億円取り返すためにいくらかかるといふか。頓挫したらどうするのか。

A 国、村それぞれ2億円、売上年間1億円との計画。厳しい目で見ている。村長選の前に「道の駅」の賛否で村長が決まった。活用して利用できたら良いと賛成した。高齢者施設も建つ。途中で止められない。農家は半分補助がある。国策で大規模農家以外は付加価値を付けてくださいという方針。高齢者施設は経費がかかる。

Q 黒字が見込めるか。すべての責任は村にある。

Q 「道の駅」で何を売るといふか。京都市内やったら、地域のブランドがある。村は茶・しいたけ・トマトでこれから開発しようとしている。このような不十分な中で何をもって賛成されているのか。失敗するとしか思えない。議員は覚悟すべきである。村の税金であるため覚悟が必要である。そうでないと村民は納得しない。

A 当初「道の駅」の場所に、商工会員がまとまってやることになっていたが、いまの

直売所になった。来年にはバイパスができる。大阪、津まで「道の駅」がない。繁華街に売りに行けない。地の利の一番いいところに村の繁華街をつくるという考えであり、村には陶芸家、皮細工などもある。

Q 事業計画立てずにできるのか。どれだけ金を使うのか。H26年も使った。投資が莫大であるが全部税金。国や府の補助金もまわりまわって全て税金である。

A 8億円も国から出る。交差点改良もされる。直売所も8年になった。初め3人で進めた。会員は現在80名。元気な村をつくるため朝9時になったら人で賑わう。「道の駅」は、情報発信、災害対応にもなる。

Q 村に適しているのか。直売所は税金を使っていない。「道の駅」は直営ときく。

A トンネル開通したら、このままでは村は衰退する。

Q 交差点は後で聞いた。村長は移転は議会で決めたと言っている。賛成の議員は責任を持ってほしい。

Q 賛成討論がないのはいいのか。

A 長年議員をしているが賛成討論なしで、進んでいるのはいまの議会だけ。本来議員は提案する議案をチェックするため、議案に対し反対理由、賛成の理由があって初めて成立するもの。

Q 悪臭について廃業等計画しながら「道の駅」も進めるべきである。短期、中期、長期の計画を明らかにすべきである。

Q 「道の駅」賛成でも反対でもないが課題がある。現村長が進めると言って当選した。議会で取りあげている問題の村長の答えは一貫して変わっていない。「道の駅」は悪臭と切っても切れない問題と言いながら進んでいない。議会を活性化してもらいたい。

Q この臭いは困る。何でも賛成なのは不思議に思う。「道の駅」はここまで来たら成功させなければいけない。何でもイエスマンでは良くない。村長提案に何でも賛成なのか。

Q 別々に提案すべき。(土地補正予算)退席された理由がわからない。土地財産と建物補償は別にすべきである。議員は住民に選ばれた人なので中身を見てやっていくべきで、退席せず採決は明確にすべきである。移転費が不明である。先週の今山での報告会で議長は村長選挙で村長が「道の駅」を進めるといったから賛成したと話した。赤字になったらどうするのか。税金で補填するのか。金の使い方がおかしいと思う。高齢者施設の調査費にたった10万円はおかしい。村長の取り組む姿勢が表われている。住民の代表であることをわかってほしい。反対議員はよくやっているが賛成している人の声が聞こえない。

A 議会の在り方に問題があるようです。体質が問題で改革が必要と感じる。

議会としてどうするか考えていく。

<野殿公民館>

～平成27年11月28日～

Q 本日の報告会は童仙房も対象か。童仙房が少ない。レストランは移転するのか。

A 移転費は補償費になっている。移転ではないが行政が移転費と説明している。根拠は、近畿地区用地対策連絡協議会の基準と京都府の用地補償基準に基づき価格を設定したと説明した。

Q 営業していないのに補償するのか。「道の駅」はいつできるのか。

A 平成29年4月開設の予定である。交差点改良もその時期に完成する予定だ。

Q 老人施設はどうなったのか。自然の家の運営は大丈夫か。

A その折はご協力ありがとうございました。他地区ではいろいろありましたが野殿の皆さんにはご協力をいただきました。1865名の署名を出しましたが、村長は自分の家で介護できれば良いと言う。何とか村で建てたいと考えていたが、きはだ園は木津川市でつくることになった。入所利用はできる。自然の家はNPOがやっている。老健は3カ月で退所しなければいけない。

有償の老人ホームもある。だいぶやったがなかなかできない。きはだ園はベッドが58中、25ベッドを村の人が利用している。

A 村長は「道の駅」が最優先で他はやらない。村長は「養豚場を買収して高齢者施設をつくったら悪臭も解決する」と事業者と折衝していると説明してきた。9月議会でもまだ引き続き努力するとしている。今は施設で働く人が集まらない。3Kの仕事。新規参入の福祉施設を運営する業者も今はいない。

A 住民も福祉施設の建設を願っている。議員も署名をし、議会で決議をし、6人が一般質問でつくれと頑張った。府にも村が建設するときには力を貸してほしいとお願いにも行った。住民以上に議員も歯ぎしりしている。自然の家はNPOで運営しているが、当初のアカデミーは頓挫した。今後アカデミーをどうするかは不明。自然の家の運営等は総務厚生常任委員会でもずっと注視していく。村の監査も厳しくするように求めている。

A 村は高齢者比率が半分のところもある。施設用地を予定しているが進まない。施設は必ず必要である。

Q 自然の家のアカデミーで子どもは増えるのか。

Q 「道の駅」が開くまでに、悪臭は解決するのか。あの場所を通るだけでもぞっとするほど臭い。解決する一番は悪臭やないか。

Q 駅長とか決まっているのか。

A 資本金3000万円で(株)南山城を立ち上げる。責任の所在が大切。副村長、参事、総務課長、推進課長らが取締役である。

A 責任を明確にすることは重要である。丹波マーケスは5年間で6億円の赤字で昨年12月に税金で補填したとテレビで報道した。なぜそのようになったのか。計画が不十分と当時から指摘されていた。責任の所在が不明であったと言っていた。村の状況と一

緒である。

Q この報告会の在り方が疑問である。村や村長の悪口を言う場所になっている。それでよいのか。村の計画と議会の意見が乖離している。議会としては十分チェックすべきである。

A 地方創生で「道の駅」を拠点に人口増を考えていこうとしている。直売所の会員は現在 80 人で活気がある。「道の駅」をつくって良くしようとしている。どうしたら黒字になるか議員は研修に行ってきた。東白川村という人口 2300 人の村で今後参考にしていく。

<本郷コミュニティセンター>

～平成27年12月5日～

Q 「道の駅」で四万十の 880 万円はどこに入っているのか。成果はどのようになっているのか。ワークショップを月 1 回やっていたがこの頃ない。四万十に任せっきりでできるのか。

A 議会だよりに掲載しているが、「魅力ある村づくり」予算で計上されている。開発、イベント参加、四万十に委託、文書を出しているが、成果はあまりない。

抹茶クッキーが去年の「生き生き祭り」で出された。今年はケーキ類が出ていた。

Q 1 日 50 万円売る計画になる。村で何をするのか追及してほしい。

A 年間 1 億円売るとなっている。しかし、従業員の給与を払うことを考えたら 3 億円は売らなければいけないと思う。税金はつぎ込んでほしくない。

A 執行しているのは村。「むらびいと」15 号で「道の駅」のことが載っている。トイレ、駐車場、情報発信、村レストラン、厨房、販売コーナー、会議室、直売所、コンビニとなっている。経営等も不十分。12 月に議員には説明すると言っている。失敗したら税金を出す。議会としてはチェックしているが、4 対 5 で進んでいる。

Q つくるためにどのような計画をいつまでやるのか計画をただしてもらいたい。行政への質問を一步踏み込んで繰り返し質問して明らかにしてほしい。具体性がない。反復して明らかになるまでやってほしい。

A 入湯税を地域にもおろして道路の整備にも使うように議論したが、議会だよりの紙面の制約もあって簡潔にしか書かれていない。

Q 「道の駅」など議会で 4 対 5 が多い。全体が決まったら進む中ではやる方向で進んでいるのか。

A 5 年間の予算が認められている。部分々々でストレートに賛成になっていない。村長選でも大差になっていない。民意も微妙である。

Q 賛成の人に採算は大丈夫か聞きたい。一旦つくったら後に戻れない。経過を見守ってほしい。大事なものはシミュレーションどおりかが大切なのでチェックしてほしい。

A 村の計画が二転三転し、計画も不十分である。

Q 計画通り進んでいるのか。

A グループでケーキの販売などしている。これから1年半あるので今は結果は出ていない。

Q もう1年半しかないと考えるべき。

A 株式会社を当初は民間でやるとなっていた。誰も来ないので村が出資金3000万円出してやっていく。去年の8月に立ち上げることになっていたができず、今年の平成27年12月になったようである。議員には12月議会で明らかになる。四万十も民間でつくると言っていたが、役場の職員全員が取締役になってやる状況。村が活性化することは良いことである。議会で研修にいったところはお茶もつくっていた。東白川村ではお茶で40数種類販売していた。ブランドもつくっていた。村は紅茶ができたと言っている。今後何ができるか聞くが、村は待ってくれと言うだけ。

Q 活性化に進むようにチェックしてもらいたい。課もつくってやっているが「むらびいと」もインタビューだけでよく分らない。分るように載せてほしい。